

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

1, 3 - ジクロロプロペンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

1 9 9 9 - 生 1 9

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1, 3 - ジクロロプロペン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)：  
対照区, (助剤対照区はメタノール), 0.010, 0.032, 0.10, 0.32, 1.0 mg/L  
公比; 3.2, (助剤対照区; 100  $\mu$ L/L)
- 6) 試験液量： 80 mL/容器 (密閉容器)
- 7) 連数： 10容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10頭/濃度区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： GC-MS法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%を超えたものがあったため、各影響濃度の算出には測定値（時間加重平均値）を採用した。

### 2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度（LC50）：0.184 mg/L

（95%信頼区間：0.090～0.277 mg/L）

50% 繁殖阻害濃度（EC50）：> 0.090 mg/L

最大無作用濃度（NOEC）：0.090 mg/L

最小作用濃度（LOEC）：0.277 mg/L